

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人都築育英学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数
・福岡キャンパス

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信	16	4	8	28	13	
	商学科	夜・通信			12	32	13	
	健康スポーツ経営学科	夜・通信			6	26	13	
経営学部	経営学科	夜・通信	16	4	6	26	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信			4	24	13	
	芸創プロデュース学科	夜・通信			6	26	13	
(備考) 経営法学科は令和5年度をもって廃止								

・神戸三宮キャンパス

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	商学科	夜・通信		2	16	18	13	
		夜・通信						
(備考)								

・東京渋谷キャンパス

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
4	経営学科	夜・通信	10	6	4	20	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信			4	20	13	
	芸創プロデュース学科	夜・通信			4	20	13	
	デジタルビジネス・マネジメント学科	夜・通信			4	20	13	
(備考) デジタルビジネス・マネジメント学科は令和6年度新設								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/> に記載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの情報公開において、「役員」を公表している。 https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	R5.6.1 ～ R9.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	R4.4.1 ～ R8.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人都築育英学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成 担当科目が決定した段階で本学の学事システムに学習目標(到達目標)、授業概要(教育目的)、成績評価の方法、基準など所定の内容を掲載 ・授業計画(シラバス)の公表 大学ホームページにて公表。公表時期は、3月下旬	
授業計画書の公表方法	https://jue.tsuzuki.ac.jp/public/web/Syllabus/WebsyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx に記載
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第 14 条(単位認定)及び履修規程第 4 章「単位」・第 5 章「試験」・第 6 章「成績」に基づき、授業計画(シラバス)記載の成績評価方法により、厳格かつ適正に評価し単位付与を実施している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修規程第26条(成績の評価区分)に基づき以下の通り実施している。 ・成績の教科区分 <table> <tr> <td>100点～90点は「秀」</td> <td>GP「4」</td> </tr> <tr> <td>89点～80点は「優」</td> <td>GP「3」</td> </tr> <tr> <td>79点～70点は「良」</td> <td>GP「2」</td> </tr> <tr> <td>69点～60点は「可」</td> <td>GP「1」</td> </tr> <tr> <td>59点以下は「不可」</td> <td>GP「0」</td> </tr> <tr> <td>評価の対象外「欠席」</td> <td>GP「0」</td> </tr> </table> ※評価の対象外「欠席」とは定期試験を未受験の学生 ・計算方法は以下の通り $\frac{4 \times \text{「秀」単位数} + 3 \times \text{「優」単位数} + 2 \times \text{「良」単位数} + 1 \times \text{「可」単位数}}{\text{総履修登録単位数 (不可の単位数を含む)}}$		100点～90点は「秀」	GP「4」	89点～80点は「優」	GP「3」	79点～70点は「良」	GP「2」	69点～60点は「可」	GP「1」	59点以下は「不可」	GP「0」	評価の対象外「欠席」	GP「0」
100点～90点は「秀」	GP「4」												
89点～80点は「優」	GP「3」												
79点～70点は「良」	GP「2」												
69点～60点は「可」	GP「1」												
59点以下は「不可」	GP「0」												
評価の対象外「欠席」	GP「0」												
客観的な指標の 算出方法の公表方法	『履修規程』第26条												
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学部・学科のディプロマポリシー(学位授与の方針)、学修到達目標及び評価基準を定め公開している。 <ディプロマポリシー> 建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め124単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科及び商学科の者にあつては学士(経済学)の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士(健康スポーツ経営学)の学位を、経営学部経営学科・グローバルビジネス学科及び芸創プロデュース学科の者にあつては学士(経営学)の学位を与え、学位記を授与する。 <卒業要件> 学則第10条(修業年限)および第20条(卒業要件)別表2(卒業所要単位)に基づき、本学に4年以上在籍し、基礎科目34単位、専門科目80単位(うち必修科目20単位)、さらに基礎科目および専門科目から10単位修得し、合計124単位以上を修得すること。													
卒業の認定に関する 方針の公表方法	『日本経済大学学則』第21条												

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本経済大学
設置者名	学校法人 都築育英学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/
収支計算書又は損益計算書	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/
財産目録	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/
事業報告書	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/
監事による監査報告(書)	https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部及び経営学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.iue.ac.jp/aboutus/release/ ）
（概要） 学則第 1 条（目的及び使命）経済学部及び経営学部共通 本学は「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神として掲げ、教育基本法および学校教育法に従い、広く知識を受け、人格の陶冶に努めるとともに、深く経済に関する専門の学問を教授研究し、教養が豊かで実行力のある有為の人材を育成することを目的とし、学術の深化、文化の向上に貢献することを使命とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.iue.ac.jp/aboutus/release/ ）
（概要） 情報公開第1号関係ディプロマポリシー 経済学部及び経営学部共通 建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め 124 単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科及び商学科の者にあつては学士（経済学）の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士（健康スポーツ経営学）の学位を、経営学部経営学科・グローバルビジネス学科及び芸創プロデュース学科の者にあつては学士（経営学）の学位を与え、学位記を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.iue.ac.jp/aboutus/release/ ）
（概要） 情報公開第 1 号関係カリキュラムポリシー 1. 経済学部 経済学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経済学・商学・健康スポーツ経営学の各分野に係わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、全学科に共通の「基礎科目」と各学科に設置する「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、それぞれの学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。 「基礎科目」については、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、情報科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の 6 分野でカリキュラムを編成する。 「専門科目」では、全学科共通の「SD(Self-Development)プログラム」の中に、SA(student-assistant)を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D.（自己啓発）Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを形成する。また、学科別の専門分野に係わる授業科目が、それぞれの学科の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。 【経済学科】 経済学科では、経済理論、経済政策、経済組織などの論理的思考を養い、産業界はもとより経済と関わる他分野にも能力を発揮できる人材を育成するため、1 年次ではそれぞれ

の基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「日本経済コース」「国際貢献コース」及び「公務員コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、中学校「社会」、高等学校「地理歴史」及び「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

【商学科】

商学科では、商取引に関わる幅広い専門分野を学び、物事を多面的に理解し、総合的に判断・対処できる実践的スキルを兼ね備えたビジネス・スペシャリストを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「会計・財務コース」、「マーケティングコース」及び「ホテル・観光ビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

【健康スポーツ経営学科】

経済学を基礎として、経営学と保健体育学の知識・技術を学び、スポーツ経営分野における独自性、専門性を兼ね備えたリーダーを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「スポーツマネジメントコース」、「日本武道コース」を設け、スポーツに関連する科目を理論と実践の両面から体系的に学修できるカリキュラムを編成する。

また、中学校及び高等学校「保健体育」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

2. 経営学部

経営学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経営学に関わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、「基礎科目」と「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。

「基礎科目」については、経済学部と同様に、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、情報科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の6分野でカリキュラムを編成する。特に留学生に対する日本語能力向上を図るためのカリキュラムの充実に努めるものとする。

「専門科目」では、経済学部と同様に、「SD (Self-Development) プログラム」の中に、SA (student-assistant) を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S.D. (自己啓発) Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを、形成する。また、専門分野に係る授業科目が、学部の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。

【経営学科】

経営学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を有機的に学修し、実践的な経営スキルを身に付け、変化の激しい時代をたくましく生き抜く企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「総合経営コース」、「アトツギ・起業家コース」、「デジタルビジネスコース」、「eスポーツ・アニメ産業コース」、「飲食ビジネスコース」及び「SDGs・環境ビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教

養を身に付け、社会に適応する力を獲得するカリキュラムを編成する。また、高等学校「商業」に加え東京・渋谷キャンパスでは「地理歴史」、「公民」、中学校「社会科」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

【グローバルビジネス学科】

グローバルビジネス学科では、進路選択や体系的な学修計画立案の一助として「グローバルビジネスコース」及び「エアラインビジネスコース」を設け、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身につけるとともに卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、基礎（語学系）科目のみならず学科専門科目においても、ビジネスで欠かせない英語力を培う「総合英語」や「アカデミックライティング」などの科目を置く。また、語学系科目を除く基礎科目、および専門科目に、卒業に必要な124単位中、100単位程度は英語による授業を選択することができるようにし、英語での授業を通して、専門的知識や思考力のみならず、ビジネス展開のうえでのハイレベルな会話が英語で可能となるよう授業の達成目標を設定する。

【芸創プロデュース学科】

芸創プロデュース学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の運営に関する理論研究と実務活動とを、経営活動の一つである芸能ビジネスの経営管理活動、およびファッションビジネスのマネジメント活動を通じて培い、芸能分野やファッション分野においてビジネスを展開できるスキルを身につけ、世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するため、1年次では基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「芸能マネジメントコース」及び「ファッションビジネスコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適応する力を獲得するカリキュラムを編成する。

【デジタルビジネス・マネジメント学科】

デジタルビジネス・マネジメント学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を、主に経営事象における「デジタル」の導入とその導入による変化の側面に焦点をあてカリキュラムを構成する。そのため、「デジタル」に関心がある学生のために、プログラミング、グラフィックデザイン、ディープラーニングやビッグデータ分析といった実技科目と、「デジタルビジネス・組織論」などの啓発科目を配置し、学生の技能の伸展を期すこととした。「デジタル技術」に関心のある学生には、実際に技術を身につけることによって「データサイエンティスト演習」をはじめ「デジタルコンテンツ演習」など実践的な科目を配置し、できるだけ早期にデジタル技術を使いこなすことができるようになり、デジタルビジネスにおいて活躍できる企業人を育成するためにカリキュラムを構成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/>）

（概要）

情報公開第1号関係アドミッションポリシー

【経済学部及び経営学部共通】

建学の精神「個性の伸展による人生練磨」に則り、世界が求めるグローバル人材を輩出するため、深く経済・経営に関する学問を教授研究するとともに、体験型語学教育・情報リテラシー教育・コミュニケーション能力向上教育によるキャリア形成を重視した個別指導を実践する。

その目的を達成する多文化環境構築のため、本学は世界各国・地域から多様かつ豊かな個性を持ち、向上心とチャレンジ精神旺盛な学生を積極的に受け入れる。

求める学生像は次の通りです。

- ・自分らしい個性の確立をめざし、自己の実現に向けて専門職をめざす人
- ・国際的経済・経営分野に強い関心を持つ人
- ・将来グローバルなビジネス分野で活躍できる知識と語学力を身につけたい人
- ・ベンチャービジネス、起業をめざす人
- ・家業の後継ならびに事業の継続、発展をめざす人
- ・日本文化と日本的ビジネスに強い興味を持つ人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/> に記載

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4 人	—					4 人
経済学部	—	20 人	16 人	20 人	1 人	人	57 人
経営学部	—	40 人	18 人	24 人	1 人	人	83 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		158 人					159 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載					
c. F D （ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
経済学部の下に FD 委員会を組織し、FD 委員会が主体となり教授方法の改善を実施している。例えば、ゼミを除く全授業の受講生に対し各学期 1 回の授業アンケートを実施し、その集計を元に授業の振り返り、且つ次学期に向けた改善を促している。また、任意の授業を互いに参観し、感想文を授業担当の教員に戻すことで忌憚のない意見を出し合い、教授方法の向上に繋げている。また、各期に 1 回、全教員参加の研修会を実施し、3 ポリシーの確認と主情報の共有を図っている。 経営学部においても、同様に FD 委員会が主体となって、教授方法の改善を実施している。経済学部と同様、授業アンケート、教員相互の授業を見学し、意見交換を実施するといった取り組みをしているほか、学生管理（留学生を含む）、研究倫理、就職支援、ハラスメントなど、部署横断的にすべての教員に知っておいてほしいテーマを厳選し研修している。研修によっては、外部の専門家を招聘するなど、最新かつ教育及び研究実務に役立つ内容を吟味しており、教育の質的向上を目指した活動を実践している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	610 人	931 人	153%	2440 人	2458 人	101%	若干名	9 人
経営学部	800 人	1182 人	148%	3200 人	3283 人	103%	若干名	18 人
合計	1410 人	2113 人	150%	5640 人	5741 人	102%	若干名	27 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	529 人 (100%)	1 人 (0 %)	440 人 (83 %)	88 人 (17 %)
経営学部	835 人 (100%)	23 人 (3 %)	541 人 (65 %)	271 人 (32 %)
合計	1364 人 (100%)	24 人 (2 %)	981 人 (72 %)	359 人 (26 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 【授業計画(シラバス)の作成】 担当科目が決定した段階で、本学の学事システムに、学習目標(到達目標)、授業概要(教育目的)、成績評価の方法、基準など所定の内容を入力 【授業計画(シラバス)の公表】 大学ホームページにて公表。公表時期は3月下旬

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学則第14条(単位認定)及び履修規程第4章「単位」・第5章「試験」・第6章「成績」に基づき、授業計画(シラバス)記載の成績評価方法により、厳格かつ適正に評価し単位付与を実施している。 <学位授与(認定)の基本方針> ディプロマポリシーを策定し、公開するとともに、学則第10条(修業年限)および第20条(卒業要件)別表2(卒業所要単位)に基づき、「本学に4年以上在籍し、基礎科目34単位、専門科目80単位(うち必修科目20単位)、さらに基礎科目および専門科目から10単位修得し、合計124単位以上を修得」したものに對し卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要なとなる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済	経済	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
	商	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
	健康スポーツ経営	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
経営	経営	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
	グローバルビジネス	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
	芸創プロデュース	124 単位	○有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
	デジタルビジネス・マネジメント	124 単位	有・無	1 年次 44 単位 2 年次以降 48 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: https://www.jue.ac.jp/aboutus/release/ に記載

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

・福岡キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済	経済	660,000 円	190,000 円	243,300 円	
	商	660,000 円	190,000 円	243,300 円	
	健康スポーツ経営	660,000 円	190,000 円	243,300 円	
経営	経営	660,000 円	190,000 円	243,300 円	
	グローバルビジネス	660,000 円	190,000 円	243,300 円	
	芸術プロデュース	660,000 円	190,000 円	243,300 円	

・神戸三宮キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済	商	660,000 円	190,000 円	243,300 円	

・東京渋谷キャンパス

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経営	経営	660,000 円	200,000 円	483,300 円	
	グローバルビジネス	660,000 円	200,000 円	483,300 円	
	芸術プロデュース	660,000 円	200,000 円	483,300 円	
	デジタルビジネス・マネジメント	920,000 円	200,000 円	633,300 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ○授業の学習支援①入学前の教材学習支援システム②習熟度別クラス編成③個人指導 ○クラスカウンセラーによる支援 ○各種資格取得に関する支援 ○出席管理 ○学習情報の提供①オリエンテーション②成績表の配布・履修指導③学生情報パソコンの利用④掲示板
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・福岡キャンパス ○就職支援体制及びその運用 ①各年次を意識した施策の展開 ②学内説明会を通じた企業との接点創出、選考支援、キャリア面談による面談対策 ③夏のインターンシップ参加への促進 ④特定技能への意識醸成 ⑤LINE 方式による学生キャリア相談による学生意識向上と簡素化 ・神戸三宮キャンパス ○就職支援体制及びその運用 ①就職支援体制として、「就職委員会」を設け、就職委員会が他の部課と緊密に連携して、各種就職関連講座の受講や、資格取得への指導・相談による支援を実施している。

②SD プログラムの1年生から2年生（基礎ゼミ）、3年生（専門ゼミⅠ）、4年生（専門ゼミⅡ）の教員と、クラスカウンセラーの各教員が学生の就職支援を担当している。 ③キャリアサポートセンターで、キャリアアドバイザーの資格をもつ教員と、センターの職員が常駐して、学生の就職や資格取得の個人相談に応じている。 ④企業からの求人情報を全国に展開して約3000社の企業からの情報を学生に開示して、センター内のパソコンや関連図書の活用推進で、学生の意識向上を図りながら、学内の合同企業説明会の実施や、専門機関の合同企業説明会への参加と活用促進を図っている。 ○進学支援体制 ①本学大学院への受験指導 ②他の大学院への進学希望者には相談教員による個別指導を実施 ・東京渋谷キャンパス ①キャリア系プログラム「S.Dプログラム」に沿った低学年からのキャリア形成支援 ②就職活動ガイダンスや自己分析、企業研究などに関する支援講座・ガイダンスの実施 ③合同企業説明会、個別企業説明会を定期的の実施するなどの求人紹介 ④資格取得支援講座の実施 ⑤キャリアコンサルタントによる個別相談
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 （概要） ○健康調査 新入生・編入生に対し大学提出書類で健康調査を行い、心身の不調の有無・健康相談の希望を確認。必要時には健康相談を実施している。また、通院治療中の学生には健康状態や、学業に支障が出ていないか経過を把握し、支援を実施している。 ○学生・教職員のカウンセリング 学生、教職員に対するカウンセリングを実施している。 相談内容により各部課が対応するとともにクラスカウンセラーが総合的に対応。 教職員に関しては学生対応についての相談を実施し、連携を取ることで学生への対応がスムーズに行える。 また、教職員が報告することで、学生を相談室へ促すこともある。 留学生のために外国人教員・職員も配置している。 ○心の健康調査 福岡キャンパスの全学生を対象とするWebアンケートを行い、調査結果を悩みや心理的問題を抱える学生の支援に活用した。 ○保健衛生 学生の軽度な負傷や疾病等に対応するため、また医療機関に搬送するための待機所として、医務室を整備している。（看護師を配置） ○社会人、編入学生への支援 社会人、編入学生への支援は、一般の学生とは別途にオリエンテーションを行って実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://jue.repo.nii.ac.jp/>に記載

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。